

科目名称：	教育相談	
担当者名：	米川 祥子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	講義	1
授業の目的・テーマ		
発達を理解した上での子どもへの援助のあり方や、保護者への対応を踏まえた子育て支援について理解できるとともに、基礎的な相談技術（ピアヘルピングや子ども・保護者・保育者それぞれの立場で理解しようとする姿勢）を身につけることができる。また、教育相談活動と専門家との連携について理解する。		
授業の達成目標・到達目標		
幼児への発達支援や保護者への対応、専門家との連携について学びながら、子どもや保護者など他者の心情理解を深める。さらに、幼稚園教諭・保育者にとって必要な相談援助の方法について、カウンセリングの基礎的理論と技法を学ぶ。		

幼児教育学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP (1)	建学の精神と設立の理念を基に、基礎知識を修め、子ども・保護者・地域住民に信頼され、多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	
DP (2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、保育・幼児教育の分野において貢献できる使命感、倫理観、責任感、実践力を身につけている。	○
DP (3)	幼児教育の学びを通して多様な社会に対応できるような豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP (4)	学生一人ひとりが、演習、実習などを通して様々な課題に取り組み解決する学修経験を重ねることで、その場に応じた活用力が身についている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
幼児教育DP (1)					0
幼児教育DP (2)			60	40	100
幼児教育DP (3)					0
幼児教育DP (4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 臨床心理士（幼児相談）	《経験年数1》 14年
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第1回 出会いについて「印象形成」	シラバスを読んでおく	10分
第2回 保育者の行う教育相談の考え方～教育相談とは何か	出会いについて「印象形成」復習しておく	10分
第3回 保育者の行う教育相談の特徴・意義について	教育相談とは何かを復習しておく	10分
第4回 保育者の行う教育相談～アセスメント	保育者の行う教育相談の特徴・意義について復習しておく	10分
第5回 保育者の行う教育相談～信頼関係作り（グループワーク含む）	保育者の行う教育相談～アセスメントについて復習しておく	10分
第6回 保育者の行う教育相談～問題の把握、問題の解決	保育者の行う教育相談～信頼関係作りについて復習しておく	10分
第7回 教育相談におけるカウンセリング技法の理論と演習	保育者の行う教育相談～問題の把握、問題の解決について復習しておく	10分
第8回 子ども理解・保護者理解と援助のあり方（ロールプレイを通して）	教育相談におけるカウンセリング技法について復習しておく	10分
第9回 “気になる子ども”や虐待事例への理解	子ども理解・保護者理解と援助のあり方について復習しておく	10分
第10回 保護者理解と対応	“気になる子ども”や虐待事例への理解の復習をしておく	10分
第11回 専門家（社会的リソース）との連携	保護者理解と対応について復習しておく	10分
第12回 現代社会の変化と保育ソーシャルワークの実際	専門家（社会的リソース）との連携について復習しておく	10分
第13回 他者援助を行う者としての心がまえ（自己受容・共感力）（グループワークを含む）	教科書指定ページを読んでおく	10分
第14回 他者援助を行う者としての心がまえ（省察的実践家としての保育者）（グループワークを含む）	教科書指定ページを読んでおく	10分
第15回 ふり返り（レポート作成）	これまでの授業内容ふり返り	10分

事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント（小レポート）をまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、100%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。
授業積極的関与（40%） 提出物（20%） 最終課題（40%）

課題に対するフィードバック

各課題に対して、その都度コメントシートでフィードバックする。
最終課題は、希望者には返却する。

教科書・参考書

テキスト

「ピアヘルパーハンドブック」（日本教育カウンセラー協会編著、図書文化）

参考書・参考資料等

「教師のための初等教育相談」（西本絹子著 萌文書林）